

第3回送配電網投資・運用効率化委員会議事要旨

1. 日 時：2024年5月15日（水）13：00～13：50
2. 委 員：一般送配電事業者（10社）の社長、送配電網協議会事務局長、
外部より招聘した学識経験者（2名）、弁護士、会計士、消費者（各1名）

3. 議 題：

- (1) 一般送配電事業者における設備仕様統一の取組みについて

4. 議事概要：

(1) 一般送配電事業者における設備仕様統一の取組みについて

●有識者委員コメント

- ・今回、年間資材費約5,300億円のうち、前回の25%から58%まで検討完了ということで、鋭意検討を進められており素晴らしい成果と受け止めている。本件をどこかで報告することは考えられているのか。
- ・取組みをさらに進めるには難しい課題が残っていると思うが、その方向を目指すのか、ある程度目指しながらも工事や保全の高度化を同時並行的に進められるのか。設備仕様統一を中心に取組まれているが、その取組みの先にある目指す姿であるサステナブルな事業運営に向けて、具体的な絵姿があれば教えていただきたい。

●一般送配電事業者コメント

- ・設備仕様統一の取組みについては、ホームページでの公開や監視等委員会の送配電効率化・計画進捗確認ワーキンググループにおいて報告を行っており、同ワーキンググループではこれまで、弊会から送電・変電設備の仕様統一への取組みを説明してきた。今後、配電設備についても、同じように説明をさせていただく予定である。
- ・仕様統一をどこまで進めるかについては、進めるほど細かい部分になってくるため、各一般送配電事業者やメーカーの話も聴きながら検討していきたい。
- ・将来の絵姿というご意見について、これから人材が減っていくことへの対応という観点では、設備の仕様統一だけで良いのかは考えていかなければならない。これからの設備保全の在り方について各一般送配電事業者でも検討を進めているが、そういった点の共有化についても、将来像を視野に入れながら考えていく必要がある。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・仕様統一を一送の事業運営全体をどうするかの一つのパーツと考えると、そもそものあるべき姿としてどのような事業運営が良いのか、そのためには資源をどこにかけるのかを描いていく必要がある。そうした中で、仕様統一は一旦手を付けたら終わりということではなく、あるべき姿の全体像を前提に違う角度から見た新たな取組むべき課題を洗い出しながら対応していくものと思っている。

●有識者委員コメント

- ・ポリマー磚子について、性能は変わらずに重量が軽くなったとあるが、軽量化されることで他の面への波及効果はあるのか。また、こういった検討は国内の電力会社で共通化されているが、将来的に海外展開まで視野に入れているのか。

- ・次世代スマートメーターの仕様統一について、情報技術は進展が早く、有効期間である10年スパンで考えると、仕様統一の時に先の技術を見越して前倒しで先手を打つアプローチか、実際に確定した段階で都度やっていく方が効率的かという点ではどうなのか。現時点で先の状況を読んで仕様統一をする可能性があるのか、かえって無駄な機能を増やすことになってしまうのかを教えてください。
- ・作業の共通化を図るといふ点について、今回統一化されたことでの影響は大きいのか。基本的に仕様統一はコストに目が行くが、効率化や安全性・レジリエンス面など、無形の効果があるのであれば、しっかりと説明された方がよいと思う。

●一般送配電事業者コメント

- ・波及効果について、変電設備の遮断器などには磁器碍子が使用されており、ポリマー碍子にすることで重量が軽くなるため、基礎をよりコンパクトにできることや輸送コスト低減といった効果もある。実際に導入する際には、そういった点のコスト評価もしながら導入を進めている。
- ・海外展開を視野に入れているかについては、ポリマーについては海外で使用されているものを国内に導入できないかといった視点の方が大きい。なお、国内規格の見直しにおいては、国際規格と見比べをしながら、合わせていけるところは合わせていくといった議論がなされている。
- ・仕様統一の検討において将来の情報技術を見越して検討しているかという点と、そこまですべてには至っていない部分もある。どこまでできるかはあるが、検討の視点に入りたい。
- ・仕様統一はコスト面だけではないという点について、今回のスマートメーターの取替時の安全性はそれにあたる。また、参考に記載の発電機車や配電線の電線皮剥き器については、自然災害時の電力間応援を意識し、復旧をスピーディーに行えるようにとの観点で検討している。

●有識者委員コメント

- ・この取組みは、コスト削減だけではなく、安全や次世代の担い手育成という点が非常に重要なので、何を重要視しているかを確認しながら、仕様統一の目的・目指すところを見直していくことが必要だと思う。
- ・この取組みは電力料金にも関係があるが、このようにコスト削減の取組みをさせていただいていることについて、どのような形で情報開示がされているのか。政府の審議会や関係者の方々だけでなく、このような努力をして電力料金への跳ね返りを防ぐ努力をしていることが分かるようにしていただくことが望ましい。
- ・次世代スマートメーターについて、すごく多くの数量が製作される中で、新規参入などを促し排除されないような取組みがなされているものと思うが、この点は積極的になされる必要があると思う。
- ・海外調達を増やすとか、国際規格を意識するとの点について、足元の円安の影響はないのか。もし為替の影響で仕様統一の進捗状況が遅れるのであれば、そういった点も説明をされた方がよいと思う。
- ・環境への配慮については、サステナビリティへ取組みという項目を作って仕様統一の取組みの中に入れておくことが、なお良いのではないかと考えている。

●一般送配電事業者コメント

- ・コスト削減だけではなく多岐にわたる重要な点については、改めて意識をしながら取組んでいきたい。

- ・いろいろな場で取組みに関する説明をしていくことが大切と考えているので、しっかりと取組んでまいりたい。
- ・新規参入について、例えばスマートメーターについて、今回の仕様をメーカーと協議するにあたっては、海外で製造しているメーカーも参入しており、新規参入を排除することはなく要件が合えば参入いただけるという状況である。
- ・円安の影響についてだが、仕様・要件の検討への影響は感じていないが、調達するという観点では、これまでは安く仕入れられた海外メーカーがどうかということはあるかもしれない。
- ・環境への配慮について、廃材については産業廃棄物処理を適切に実施しているし、GISに使用している SF6 ガスについて今後は環境に優しいガスに変えるといった検討や、変圧器の油を植物性に変えるといった検討を行っている。サステナビリティに関する項目だての件については検討していきたい。

●有識者委員コメント

- ・前回からの進捗を報告いただき、不断の取組みをされていることが良くわかる。
- ・あまり効率化の取組みが世の中には認識されていないのではないかと感じている。大規模な投資に対して厳しい目が向けられる中で、今後想定される高経年化対策や系統への投資に対して、コスト削減の努力を始めており実績が出ているという点について、アピールはされた方が良い。
- ・電力・ガス基本政策小委において、発電・小売電気事業者から系統接続の手続きや様式が統一されておらず、社会コストがかかっているとのコメントがあった。統一してシンプルにすることで、社内手続きやシステム負荷が軽くなるのではないかと思うが、取引先の工数削減効果が見られるような取組みは進めていくのか。設備関係の方がキャッシュフローに与えるインパクトがあるが、社会コストの観点からは、違ったステークホルダーの目線で見えていくということがある。

●一般送配電事業者コメント

- ・一送各社ごとに手続きが異なっており煩雑だとの声をいただいていることは認識している。事業者の方々ともコミュニケーションをとりながら、各社の様式統一を進めているところであるが、引き続き、事業者の方々のご要望を踏まえつつ、可能などころからしっかりと進めていきたい。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・事業者の方々のお話をよく聞くことが大切だと考えている。ある程度のところまでは統一されているが、細かな違いについてどこまで詰めれば事業者の方の手間が変わるのか、具体的な話をしっかり聞いて、早く進めるべきところを具体的にしていけることが重要と考える。

●有識者委員コメント

- ・環境への配慮について、今後、ますます重要度が増す中で、経済効率化を図ると共に環境へ配慮することにも重点を置くという両立の観点からは難しい点もあると思うが、引き続き進めていただければと思っている。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・環境という面では、先ほどの確実な廃棄物処理や環境に優しいものを使うという以外にも、リサイクルやリユースの取組みも各社で進めているので、そういった面についても推進していきたい。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・仕様統一は、社会インフラを支える電気事業をサステナブルに続けるための重要なファクターであり、コスト面だけでなく、安全性やレジリエンスの観点、環境への配慮、メーカーへの影響もあることから、しっかりと進めていきたい。
- ・委員の皆さまにいただいたご意見を踏まえ、コストだけでなく社会的な広い視点から取組みさらに良いものにしていきたいと考えており、その取組を説明していく場や方法についてもしっかりと考えていきたい。本日は貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。

以 上